

推薦文① Mr. 宮本 雅史 (1977年・工学部・修卒, 元H-P社)

MBAに興味を持たれている諸氏へ

2015年7月5日

宮本雅史

### ミニMBA塾受講の推薦

皆さんこんにちは！

自分の価値を高めたいと思っている方に薦めます。

米国ではMBA取得者は年間9万人、日本では年間3500人であると、今年1月10日に開催された「MBAチャレンジ」サポートの公演で聞いた。アメリカではMBAを取得することが企業でのシニアマネージャー職を得る条件になっていると思われる。アメリカを追随する日本でも、将来同じ状況になると思われる。

本コースは講師の大住先生の紹介では、30歳代の中堅の方にMBAの本質を理解頂く場を提供する事と記載されていました。59歳の私が参加したのは、中堅の方と共に学び意見を聴くことが目的でした。第一回の修了者は、30歳代4名と50歳代3名の7名でした。また全員が全く異なる職場職種でした。今回の参加者の顔ぶれがどのようになるか楽しみです。

講義の進め方は、事前に配布されるアーキテクチャーに記載されたスケジュールで実施されます。事前にテキストを読んでおく事が必要です。大住先生の説明が始まると質問・意見が飛び出します。テキストに沿った講義はいつも時間が足りませんでした。月1回のメイン講義と補講があり、月2回の参加が可能でした。

私の印象に残っている事を4点あげます。

1. 自然科学と社会科学とは、科学の意味において同じである。  
(理論に基づいて実証確認をし、本質を確認する。)
2. 組織運営においては、Integrityが重要である。
3. 人口と経済指数との関係
4. 受講生が講義を通じて発見する問題と目標設定 (月1回の受講生のレポート)

受講する事で、MBA関連の情報にアクセスする方法を学びました。

MBAに関するイベントが開催されている事をしり、ミニMBA塾卒業後もMBA関連のイベントに積極的に参加しています。

第4回ミニMBA塾に参加される皆様と会える時を楽しみにしています。

以上

私の履歴

1971年 私立滝川高等学校卒

1975年 神戸大学工学部計測工学科卒

1977年 神戸大学工学部計測工学科修士卒

1977年 横河ヒューレット・パッカー入社 (営業関連部門)

2013年 日本ヒューレット・パッカー退社 (36年間営業関連部門にて勤務)

2014年 株式会社購買 Design 入社

推薦文② **Mr. 伊東 大輔** (1998年・東京大学法学部卒, アド・ダイス代表)

ビジネスって何だっけ？悩んでいるビジネスマンに自信を持ってお勧めします。

世界広しといえどもビールを飲みながら授業が進むのは東京六甲クラブのミニ MBA 塾だけではないでしょうか。

自由な授業進行の象徴とも言える食事とお酒を飲みながら活発な議論が飛び交う不思議な時間が驚くほどの豊かさをもたらしてくれました。

私は他大学出身の賛助会員なので本来は入塾資格を充たしておらず頼み込んで受講させて頂いたのですが、無理にでも通って大正解でした。

ビジネスに対して系統立ったアプローチをしたいという欲求を抱いたときに、では何をどうすれば良いのかが分からず無手勝流のガンバリズムだけで凌いでいたときにたまたま知ったのが本講座でした。

巷に氾濫するアンチョコビジネス本を千冊読むよりも本講座で大住先生のご指導のもと珠玉のビジネス書を紐解くほうが圧倒的に有益です。

月に1回のペースですから多忙を言い訳にすることなく継続できる丁度良い周期でした。

また、仕事の都合でどうしても出席できない場合でも補講が組まれるので授業に追いついていくことができます。

メディア等で流布している一般受けしがちな見解をしりぞけ、世界のどこにいても通用するビジネススキルを伝授して頂けます。

そして、月に一科目ごと MBA の当該科目のエッセンスを簡潔に網羅した大住先生の講義ノートがたまっていき、講義が全て終わる時には貴重なテキストが手に入ります。

一家言ある現役ビジネスマン同志が学んだ内容をもとに議論を戦わせることでテキストの中身が生き活きと動き出し、MBA の思考枠組みを自家薬籠中のものにすることができました。的に、分かっていたつもりのマーケティングが弱点であったことを知ることが出来ました。

先生と受講生仲間に相談しながら作戦を立て直し、一皮むけることが出来ました。

単なる知識では無い活学を身につけられる機会が大住先生のご好意によりとんでもなく安価に開かれています。

ビジネスの原理原則を身につけたい人に自信を持って本講座をお勧め致します。

伊東大輔